

人とモノの間に。



TANAX

サステナビリティレポート 2024

株式会社TANAX CSR報告書（2023年12月期）



Top Message

UXと自らニーズを創造することで 次の100年もなくてはならない存在へ

事業を通じて環境、社会へ貢献する

2023年度は前年より続く原材料の価格高騰や円安など目まぐるしい環境変化にも耐えられる、企業体力や柔軟性、ビジネス価値がより問われる年でした。

こうした状況の中、当社はどんな時も人とモノの間に「エクスペリエンス（新たな体験）やセレンディピティ（発見・感動）」を創造し続け、創業から117年を迎えることができました。当社が提供するのとはモノではなくエクスペリエンスです。次の100年も無くってはならない存在であり続けるために、様々な変革を行って参りました。

事業では、リアルとデジタルを融合したボーダーレスなプロモーションの価値創造や、あらゆる業界・業種において企画・製造・販売・物流、そしてコンサルティングも行うハイブリット企業として感動の原点となり、人々の

ニーズや感動に徹底的に寄り添うことで、期待を超え続け、信頼を築いて参りました。

そして、そこにSDGsやESGの活動を取り入れることで、事業を通じ、環境的価値や社会的価値に取り組む姿勢が評価され、昨年EcoVadisでシルバーメダルを獲得することができました。

当社はいつの時代もココロでつながる会社であることを胸に、UXと自らニーズを創造することで、次の100年もなくてはならない存在であり続けて参ります。

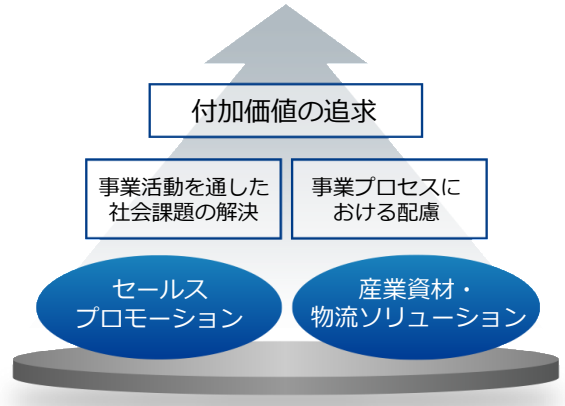
代表取締役社長 田中 一平

TANAXのCSRの考え方

当社は、セールスプロモーション、産業資材・物流ソリューションの各事業を通して、持続可能な社会形成への寄与を目指します。

- ステークホルダーの要請・期待に応える付加価値を追求することで、信頼に基づく相互発展の関係を構築します。
- 事業活動を通して社会課題の解決に向けた価値を提供します。
- 事業プロセスにおける環境・社会・品質への影響に配慮し、継続的改善に取り組みます。

持続可能な社会形成への寄与



SDGsへの貢献

2015年の国連サミットにて2030年までの「持続可能な開発目標 (SDGs)」が採択され、持続可能な社会の実現に向けた17目標・169ターゲットへの貢献が社会的に求められています。当社では、SDGsの開発目標から7項目を重点目標に定め、お客様および協力会社様のCSR・SDGs活動への貢献につなげるため、活動推進しています。

SDGs : Sustainable Development Goals

国連サミットで採択された、2030年に向けた「持続可能な開発目標」。目標・ターゲットには人権、健康、気候変動対策、森林保全などが含まれます。







SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



■ TANAXのSDGs重点目標



TANAXはお客様・協力会社様・従業員・製品・地球環境への配慮に重点を置いて、SDGsの取り組みを全社で推進しています。

CSR重点テーマ		SDGsへの主な貢献
事業を通じた 社会課題の解決	製品ライフサイクルにおける環境配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ちゃんとエコ ・FSC® 森林認証 ・環境ラベルでの環境意識向上への貢献  <p>1.5 2.4 3.3 3.8 3.9 4.1 5.5 5.a 6.4 6.5 6.6 7.2 8.4 8.5 8.7 8.8 12.1 12.2 12.4 12.5 12.6 12.7 12.8 12.a 13.1 14.1 14.3 15.1 15.2 15.3 15.4 15.5 15.7 15.8 15.c 16.3 16.5 16.6 16.7 17.1 17.11 17.17</p>
	客先での滞在在庫 ・廃棄物の削減	 <p>12.1 13.1 14.1 15.1</p>
	プラスチックゴミ削減 ・植物性、生分解性素材や 新技術の提案推進 ・再利用可能な資材の提案	 <p>3.9 12.2 12.4 12.5 13.1 13.3 14.1 14.3 15.1</p>
	梱包を起点とした 物流ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> ・物流現場の人手不足解消 ・物流コスト削減 ・「ホワイト物流」推進運動  <p>8.2 9.4 12.2 12.4 12.5 15.1</p>
	店舗DX推進 (デジタルトランスフォーメーション)	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな買い物体験 ・非接触型の店舗接客 ・ウイルス感染対策  <p>8.2 9.4 12.2 12.4 12.5</p>
	豊かな暮らしと 多様な人々への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな商品開発  <p>3.9 12.2 12.4 12.5</p>
事業プロセスに おける配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・気候変動への対応 (GHG排出量の削減) ・環境負荷の低減 	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO14001取得 ・CDP参画とGHG排出削減活動  <p>12.2 12.4 12.5 13.1 13.2 13.3 14.1 15.1</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・品質・コスト競争力向上 ・責任ある生産と調達 	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO9001 品質管理とトラブル削減 ・CSR調達方針の徹底 ・サプライチェーン評価  <p>8.7 8.8 10.2 12.2 12.4 12.5 17.17</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい職場環境 ・多様性の尊重 ・人材育成、成長支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウイルス感染対策 ・SFA導入と活用 ・WLBの向上 ・有給休暇取得推進活動 ・育児、介護休業制度 ・女性活躍推進  <p>3.3 3.9 5.4 5.5 8.2 8.8</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス・リスクマネジメント ・ビジネス倫理の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス教育 ・ISO27001 情報管理 ・事業継続計画 (BCP) ・Sedex参画  <p>12.4 16.5 16.7 17.17</p>

トピックス①

仏 EcoVadis社の2023年サステナビリティ調査で「シルバー」評価を獲得

株式会社TANAX（本社:京都府京都市、代表取締役社長:田中 一平、以下 当社）は、企業のサステナビリティ活動に関する国際的な評価機関であるEcoVadisによる2023年調査において、「シルバー」評価を獲得しました。

EcoVadisシルバーメダル獲得



EcoVadis社は、世界中の持続可能性を推進するため、2007年に設立された企業のサステナビリティに関する国際的な評価機関です。世界175ヶ国、200業種にわたる約100,000社以上の企業を対象に、「環境」「労働と人権」「倫理」「持続可能な資材調達」の4分野で評価を行っており、「シルバー」評価は、対象企業の上位25%以上に付与されるものです。ESGの重要性が高まっている昨今、EcoVadis社の評価結果は多くのグローバル企業からサプライヤー選定における重要な基準の一つとして参照されています。

トピックス②

京都府教育委員会と京都市教育委員長より感謝状を授与

当社では、ダイバーシティー企業として、人権と雇用を守る取り組みを多年に渡って行ってきました。2023年も、京都府立学校のインターンシップなどの就業体験活動の場を提供したり、私立総合支援学校の生徒の方が働くための技術や意欲を培う職業実習の場を提供しました。これらの功績が評価され、京都府教育委員会と京都市教育長より感謝状をいただきました。翌年には、京都商工会議所と京都府が共催する「障害者雇用促進セミナー」で、当社のこうした社会活動についての公演も実施いたしました。



京都府教育委員長 感謝状



京都市教育長 感謝状

「お客様にとってなくてはならない存在」であり続けるために、各種ISOをベースとした独自のマネジメントシステムを運用し、製品サービスの品質向上と継続的改善に取り組んでいます。

TANAX 品質方針

株式会社TANAXは製品サービスの品質向上と、地球環境の保全が経営の重要課題であると認識し、多様化するニーズに対応していくために、品質、環境及び情報マネジメントシステムを構築し、品質、環境及び情報の双方向による継続的活動の推進により、常にお客様満足度の向上を意識し取り組んでいきます。

1. ISO9001、ISO14001及びISO27001を基礎とした独自のマネジメントシステムを構築し、森林認証、ちゃんとエコを含めた環境保全活動、品質向上及び情報セキュリティを推進します。
2. 当社の活動、製品のライフサイクル及びサービスが関わる環境側面、お客様要求事項を認識し、品質、環境及び情報マネジメントシステムの継続的改善を通じて、企業の社会的責任を果たす高付加価値製品の提供を目指します。
3. CSR調達方針に基づき、当社の活動に関する法令、条例及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
4. 技術的、経済的に可能な範囲で品質、環境及び情報の目的、目標を設定し、定期的に見直しを行い、継続的に改善を行います。
5. CDPの、企業に対して気候変動への戦略や具体的な温室効果ガスの排出量に関する公表を求める理念に同意し、CO₂排出量の削減についても取り組みます。

改訂：2021年9月1日

品質管理体制

当社は各種ISOを基礎とした品質管理システムを構築し、品質管理規程を含む社内ルールに基づいた運用を行うことで、安定した品質レベルの確保に努めています。具体的活動として、各現場での生産プロセス管理の徹底と品質の作り込みを実施。また、Webカメラやスマートフォンを活用した映像コミュニケーションシステムにより、製造現場の工程・品質確認、作業指示を遠隔地からもリアルタイムに行える体制を構築。これらにより、ヒューマンエラーの防止と不適合品流出の未然防止を図り、生産現場力の強化を図っています。

協力会社様にも当社の品質ガイドラインの運用と、監査評価へのご協力をお願いし、協力会社様と連携して製造品の品質向上に取り組んでいます。

ISO9001（品質マネジメントシステム）

2013年に本社工場でISO9001認証を取得。この取り組みを基に2015年に全工場、2016年に本社、支店、営業所を含め、全社で認証を取得しました。品質マネジメントシステムの有効性を高め、製品サービスの品質向上につなげるために、運用・活動を通して課題を抽出し、継続的改善と教育の徹底に取り組んでいます。



各種マネジメントシステムを基礎とした 全社員参画による品質管理体制



ISO12647-2（カラーマネジメントシステム）

当社は、印刷部門においてオフセット印刷の標準化（PSO）を規定した「ISO12647-2」の認証を取得しています。この認証取得により、オフセット印刷で安定したカラー印刷の提供ができる体制を構築し、印刷物の品質および色の再現性が高水準にあることを証明しています。



環境保全の取り組み

SDGsへの
主な貢献



地球環境保全と地域社会への配慮は、経営における重要課題の1つです。

当社はCO₂排出量の抑制と持続可能な資源の利用に努め、環境経営を推進しています。

TANAX 環境憲章

基本理念

株式会社TANAXは、「循環型・持続可能な社会形成への寄与」を果たすべく、地域社会との調和・共生をはかり、地球環境保全活動の推進と、資源の持続可能性確保に努めます。

基本方針

1. 省資源・省エネルギー・CO₂排出削減の推進
2. 事業活動に関わる環境負荷の低減
3. 環境配慮品・森林認証品の拡販
4. 環境保全活動の公開と社内啓蒙

発行：2017年12月1日
改訂：2021年 9月1日

「ちゃんとエコ」認定ラベル制度

「ちゃんとエコ」とは、店頭販促物、産業資材、商業包装材にて、ライフサイクル全般における環境負荷低減に配慮した製品を「ちゃんとエコ」製品として認定する、TANAX独自の環境ラベル制度です。

2009年の運用開始以降、持続可能な社会のために今できることを可能な限り実践する精神のもと、お客様・協力会社様とともに環境負荷低減を実行しています。営業、企画、設計、製造、廃棄、リサイクルなどでの環境配慮を加点評価し、基準点をクリアした製品に「ちゃんとエコ」ラベルを付与。FSC®認証紙の利用推進、省資源化による環境負荷削減、環境コミュニケーションによる社会的な環境意識向上などに貢献しています。



「ちゃんとエコ」ラベルは自己宣言型環境主張（タイプII環境ラベル）として、環境省の環境ラベル等データベースに掲載されています。

FSC® 森林認証（CoC認証）

森林保全への貢献を企業としての社会的責任と捉え、「FSC森林認証紙」の使用を推進。FSC森林認証は適切に管理された森林から切り出した木材を原材料に使用すること

で「木を利用しながら森を守る」制度です。当社はFSC CoC認証を2010年に取得し、認証製品の製造販売を行っています。



ISO14001（環境マネジメントシステム）

2001年から本社工場にて、ISO14001（環境マネジメントシステム）を導入し、各種環境課題への取り組みの目標を設定し、環境パフォーマンスの向上に努めています。

システム運用では、第三者機関による定期審査を受け、有効性確認と改善を実施しています。



TANAX本社工場



わたしたちは、いつの時代でも「ココロでつながる会社」でありつづける。を企業理念とし、地球環境保全・地域社会との調和や共生をはかり、「循環型・持続可能な社会形成」の実現を目指します。環境的価値や社会的価値に常に貢献し、経済的価値向上につなげ、地球や社会とココロでつながり、顧客企業の課題解決において、いつの時代でもなくてはならない存在でありつづけます。

TANAX 環境方針

- 1. 環境型・持続可能な社会をめざす**
環境マネジメントシステムを推進し、省資源、省エネルギーに取り組み、持続的な改善により、地球環境保全に取り組み。
- 2. 法のおよび社会的責任への取り組み**
環境保全に関する法規制の遵守や企業の社会的責任だけでなく、社会対応力を向上し、ステークホルダーの期待や将来の社会的課題においても事前に察知し、自主的な行動基準を設定し、実行する。
- 3. 環境目標の設定と実態の検証**
環境影響を的確に捉え、中長期的な目標の設定と、実施状況を定期的に検証、公開すると共に、環境負荷低減に取り組み。
- 4. 環境配慮品やサービスの提供**
ライフサイクルアセスメントの視点に基づき、ライフサイクル全体で環境負荷低減となる製品やサービス提供に取り組み。
- 5. 全てのステークホルダーと協働し、環境保全に取り組み**
持続可能な調達を推進し、原材料供給先や外部委託先、お客様など、全てのステークホルダーと協働し、開発・企画・設計・調達・生産・使用・廃棄に至る各プロセスで、環境負荷低減を推進する。
- 6. 自然環境、生物多様性への配慮**
生物多様性や大気・水環境に配慮した事業活動を行うと共に、地下消費資源・CO²・水消費の削減、森林認証材の利用、脱プラスチック・サーキュラーエコノミー推進を行い、陸域生態系の保護、海洋・海洋資源の保全に努める。
- 7. 環境保全活動推進と全従業員への周知と教育**
全従業員へ環境方針を周知し、環境保全活動への意識を高め、事業プロセスを常に見直し、ビジョンの共有・仕組み作り・次世代教育を行い、一人一人が自ら考え行動できる様、E S G推進に取り組み。
- 8. 社会コミュニケーションを行い、環境情報を積極的かつ公正に開示する**
事業活動における全てのステークホルダーとのコミュニケーションを推進し、公正かつ透明性高い情報公開を行い、ステークホルダーエンゲージメント向上に取り組み。

発行：2023年11月1日

CDPへの取り組みとCO₂排出削減活動

CDP (カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト)

CDPとは、グローバル企業や主要国企業に対し、気候変動対策、森林・水資源の保護に関する、環境問題への取り組みについて公開を求め、評価する国際NGOです。企業評価にESG(環境・社会・企業統治)情報を活用する流れが強まる昨今、CDPは企業の持続可能性を示す指標の1つとなっています。

当社は2015年からCDPに参画。2023年もCDP質問書に回答し、前年の気候変動対策や森林保全活動の実績と、今後の戦略、リスクマネジメント結果を公開しました。

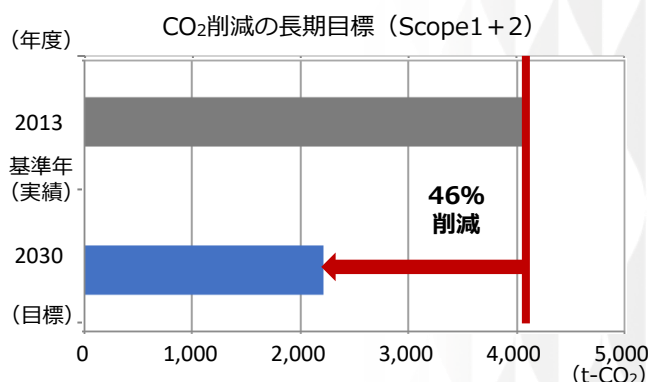


2023年のCDPにて、3分野の環境取り組み(2022年活動実績)を公開

2030年に向けたCO₂排出量削減を上方修正

地球環境保全は企業にとっての重要課題の1つと認識し、当社はCO₂排出量の削減を進めています。

2021年4月地球温暖化対策推進法に基づく政府表明を受け、当社は2030年までに「2013年比26%削減目標」を上方修正し、「**2013年比46%削減**」を目指す事を表明します。目標達成に向け、より一層、省エネルギー化と生産性向上に努め、CO₂排出量削減を推進していきます。

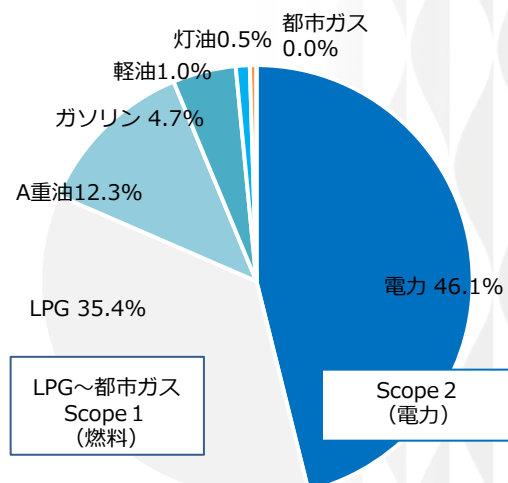


CO₂排出削減活動

2022年度のCO₂排出量は3,010t-CO₂となり、基準年の2013年比で26.6%削減しました。当社では省エネルギー化や設計・製造での省資源化などの取り組みに加え、CO₂削減を目的とした設備投資を推進しています。

主なCO ₂ 削減活動		実施年
照明のLED化	本社工場	2015年、2019年
	本社	2017年
	北海道工場	2019年
	仙台工場、九州工場	2020年
高効率ボイラーの入れ替え	本社工場	2014年
	東京利根工場	2016年
	北海道工場	2017年
空調機の入替	本社工場	2018年
印刷機の入替	本社工場	2020年
本社・各工場における新電力採用		2015年から順次
新電力採用済みの5工場においてCO ₂ 排出係数の低い新電力に切り替え実施		2018年
営業車削減とカーシェアリング導入		2015年
本社での電気自動車の導入		2016年

TANAXのエネルギー種別CO₂排出量 構成比 (2022年度)



※CDP回答内容として2022年の活動実績を公開

2022年度のCO ₂ 排出量	3,010t-CO ₂
2013年比の削減率	26.6%削減
2030年目標	2,212t-CO ₂



コンプライアンス、人権の尊重、地球環境保全など、当社のCSRの考えに基づいた調達活動を通して、当社と協力会社様との長期的な相互の信頼関係を構築し、共存共栄の関係を目指します。

TANAX CSR調達方針

1. お取引先様との共存共栄

当社は、事業活動を行うために必要な物品、サービス等を様々なお取引先様より調達し、付加価値を加え、当社の製造品、サービスとして提供を行っています。

この中において、当社とお取引先様とは、相互に長期的な信頼関係を構築し、良きパートナーとしてお互いが自己の持つ力の向上を図り、ともに繁栄、存続してゆく、共存共栄の関係を目指します。

2. 公平な機会の提供

お取引先様の選定については、企業としての信頼性、技術力、調達品の品質、価格、納期、企業の社会的責任への取り組み状況等の項目による総合的な評価を行い、国内、国外、経営規模の大小を問わないものとし、新規希望者に対し、常に公平、公正な機会を与え、真摯に対応するように努めるものとします。

3. CSRに配慮した調達活動の推進

当社は、「CSR調達指針」に基づき、法令遵守、人権の尊重、労働安全衛生、製品、サービスの品質、安全性の維持、確保、情報セキュリティの維持、推進、公正取引、企業倫理、事業継続のための危機管理体制の構築、社会貢献等、CSRに配慮した調達活動をお取引先様とともに推進します。

4. TANAX「CSR調達指針」

当社は、CSRに配慮した調達活動を積極的に推進するため、「CSR調達指針」を作成し、自ら遵守するとともに、お取引先様に対しても、この指針の遵守を求めます。

発行：2016年11月1日

改訂：2023年 4月1日

森林認証紙・古紙の調達

お客様からの環境配慮に関するご要望にお応えし、「持続可能な紙の利用」を推進するため、紙・板紙・段ボール原紙の供給元との強固なネットワークを構築し、FSC®森林認証紙や古紙の安定的な調達に努めています。

また、当社独自の環境配慮基準「ちゃんとエコ」において製品に対する環境配慮を加点評価するうえで、古紙の利用を推奨し、製品における古紙含有率を高める活動を進めています。こうした活動を通して、「循環型・持続可能な社会形成への寄与」を目指し、森林保全と資源の循環利用に取り組んでいます。

化学物質の安全性確認

製造時において化学物質によるばく露から作業を守るために、化学物質管理に関するルールを定め、取り扱い物質や作業内容についてリスクアセスメント評価結果に基づいた適切な作業環境を整備。取り扱い化学物質および規制対象物質のリスクアセスメント実施手順を定め、保護具の選定・使用徹底を図ることで、化学物質による健康被害予防と労働災害リスク低減に努めています。また、取り扱う化学物質についてSDS（安全データシート）を取得し、自社の製造現場および社外製造委託先様などの安全確保を図っています。

働きやすい職場環境づくり

SDGsへの
主な貢献



一人ひとりの社員が安心・安全に、かつ目標とやりがいを持って働ける職場づくりを実現するために、人権の尊重、健康配慮、社員の成長と能力開発に関する取り組みを実施しています。

働き方改革の実践

【現場の声に寄り添う】

以前より、社員が働きやすい会社、長く勤めたいと思える会社とするべく、自己申告を定期的に行って参りましたが、日常的に様々な改革に取り組むために、自己申告に加え全社員に「業務改善のアイデア」「企業理念」などに関するアンケートを取り、善策の検討・実施を決定する会として「分科会」を設立いたしました。

【ライフサポート休暇制度の導入】

私傷病・出産・育児・介護などで休みが必要な場合、年次有給休暇の残日数を気にせず、安心して休暇を取得できるようにすることを目的として、ライフサポート休暇制度を新たに導入いたしました。

社員やそのご家族の「ワークライフとプライベートの充実」のバランスが取れ、多様なライフスタイルにおいても社員が生き生きと働くことのできる職場を目指して、10月の導入以降、多くの社員が活用しています。

【オフィスの改装】

2020年の新型コロナによる世界的パンデミックや、多種多様な働き方、AIの目覚ましい発展やデジタルの進化など、当社では企業を取り巻く様々な状況の変化に応じて、柔軟な対応ができるAgile型（アジャイル型）の組織作りを目指してきました。その組織を支えるための取り組みの一環として、SP事業・産業資材事業の主要4拠点のオフィスをフリーアドレスに対応したレイアウトに改装いたしました。

これにより、部門や拠点の情報交換が活発になり、こうした交流から新たな創造が生み出されています。



【営業支援システムの強化】

名刺管理ソフト「Sansan（サンサン）」を導入し、既に運用していた営業支援システム「Salesforce（セールスフォース）」と連携させることで企業インフラの更なる整備に取り組んでいます。あらゆるお取引様との接点を個人の人脈情報から会社の資産とすることにより、多面的な経営判断を行うことができ、企業価値の共創の実現を目指しています。

ダイバーシティ&インクルージョン

基本的な人権と個性の尊重を基本として、従業員一人ひとりがやりがいを持って働ける職場環境を実現するために、女性活躍推進、高齢者や障害者雇用に取り組んでいます。

障害者雇用の取り組みにおいてはその功績が評価され、京都府教育委員会と京都市教育長より感謝状をいただきました。その他、京都商工会議所と京都府が共催する「障害者雇用促進セミナー」の公演も実施いたしました。

人材開発・社員教育・成長支援

部門や業務内容に応じた能力開発

専門スキルの獲得を目的として、職位や部署、各社員のスキルレベルに応じた様々な研修・教育を実施し、社員の能力開発と力量向上に積極的に取り組んでおります。

入社時には約1か月間にわたり、ビジネスの基礎を身に付けていただくための研修を実施し、配属後はOJTと通常業務から離れて特別に行うOFF-JTの双方を実施しています。入社2年目や中途社員には、フォローアップを目的とした集合研修を実施し、管理職社員には、企業理念浸透を目的としたMVV研修を実施しています。





法令遵守の徹底と企業倫理・社会的責任の意識浸透に取り組み、誠実な企業活動に努めることで、お客様をはじめ、ステークホルダーの皆様から安心・満足・信頼をいただける企業を目指します。

TANAX コンプライアンスポリシー

株式会社TANAXは、企業活動を通じ持続可能な社会の実現に寄与するため、以下の通り、コンプライアンスポリシーを定めます。当社は、本ポリシーを遵守するため、コンプライアンス体制の整備や役員および従業員に対する定期的なコンプライアンス研修を行うとともに、本ポリシーの遵守状況について監査の独立性を担保したうえでモニタリングを実施することで、コンプライアンス体制の強化に向けて継続的な改善を図っていきます。

1. 法令遵守

- ・企業活動に関係する法令、条例、通達、お客様との契約および社内規程等について、その趣旨、目的を理解し、遵守します。

2. 社会的責任

- ・社会の構成員としての自覚を持ち、社会規範および企業倫理に基づき、良識を持って誠実に行動します。

3. 公正な取引

- ・優越的地位の濫用や不当な取引強制、事業活動の不当拘束など公正な競争を阻害する行為またはその恐れのある行為を行いません。
- ・私的独占・寡占、カルテルや談合など競争の実質的制限となるような行為を行わず、競争の実質的制限と疑われるような行為もいたしません。
- ・不当な代金の減額や、不当な取引内容の変更など下請事業者や取引先の利益を不当に害する行為をいたしません。
- ・誤解を招くような誇大な広告宣伝など一般消費者の合理的な選択を阻害する行為またはその恐れのある行為をいたしません。

4. 情報管理

- ・当社およびお客様の企業秘密は適切に管理し、第三者への漏洩を防止するとともに、利用目的の範囲内でのみ使用いたします。また、企業秘密について、不正な手段により入手いたしません。
- ・個人情報適切に管理し、漏洩、毀損、滅失などを防ぐとともに、お客様から許諾された利用目的以外の目的で利用いたしません。

5. 知的財産権

- ・第三者が保有する著作権、商標権、特許権、実用新案権、意匠権などの知的財産権を無断で使用せず、また当社が事業を行ううえで第三者の知的財産権を侵害しないよう事前に必要な調査を行うなど最善の注意をいたします。
- ・当社が保有する著作権、商標権、特許権、実用新案権、意匠権などの知的財産権を適切に利用し、保全します。

6. 反社会的勢力の排除

- ・暴力団をはじめとする反社会的勢力と一切のいかなるかわりを持ちません。
- ・違法行為から生じた収益にかかわる取引やテロリストに資金を供与する行為を一切行いません。

7. 腐敗防止

- ・政治家や役人などに対する贈賄や不正な利益供与などの腐敗防止に取り組みます。
- ・社会通念上相当と認められる程度を超えた水準の贈答・接待を行うことや受けることはいたしません。
- ・当社の利益を犠牲にして、当社の従業員が自己または第三者の個人的な利益を図るような行為をしません。
- ・当社および従業員は、お客様の重要な非公開の情報を利用して利益を得るような行為をいたしません。

8. 環境に対する配慮

- ・地球環境の保全に十分配慮した事業活動を行うとともに、資源の再利用などを通じ環境負荷の低減に努めます。

9. 労働環境

- ・お客様や取引先をはじめとする当社にかかわるすべての方の信用・信頼・名誉を損なう行動や発言を許容しません。
- ・労働安全衛生にかかわる法令を遵守し、従業員が安全で働きやすい環境を確保し、従業員の健康を守ります。
- ・人種・国籍・年齢・性別・宗教・政治的見解など業務の遂行と関係のない事由に基づく差別を行いません。
- ・性的な嫌がらせや、職場内での優越的な地位を利用した業務の適正な範囲を超えた精神的・身体的苦痛を与える行為を許容いたしません。
- ・本人の意思に反する就労、離職の自由が制限される労働などの強制労働を防止します。
- ・法令で定められた最低年齢に達しない者を労働に従事させません。

発行：2019年9月1日

改訂：2021年9月1日

コンプライアンス推進体制

当社は、コンプライアンス活動を含めた全社的なリスク対策や業務・労務改善を推進するために、メンバーを選出して「TSプロジェクト事務局」を設置しています。全拠点を対象として、コンプライアンスポリシーに基づく定期的な社内教育とモニタリングの実施により、コンプライアンスの徹底と継続的改善を図っています。



事業継続計画（BCP）の拡充

緊急時における従業員および、その家族の安全確保と、事業の継続運営を適切に行うことを目的として、事業継続計画の拡充を進めています。方針・対応手順を制定し、大地震や新型感染症の発生などの緊急時に、全社の対応に関する重要な意思決定を迅速に行うために危機管理体制の整備を推進。また、平常時から定期的に従業員に教育訓練を実施し、BCP対応を社内に根付かせる活動に努めています。

Sedexでの倫理情報の公開と遵法性確認

（Sedex：サプライヤーエシカル情報共有プラットフォーム）

Sedexは世界規模でサプライチェーンを構築する大手企業で取引先・仕入先の管理に活用される情報共有プラットフォームです。

当社は、サプライヤーとしての倫理的かつ責任ある事業慣行の証明を目的としてSedexに登録（本社工場）し、労働・安全衛生・環境・ビジネス倫理を対象とした当社の企業取り組みをSedexで公開しています。また公開情報をもとに第三者機関の審査を受け、その信頼性および遵法性を証明しています。



内部通報制度

会社の法令遵守を推進するため、通常の社内報告ルートとは別に、従業員からのコンプライアンスに関する電話・メールでの通報・相談窓口として「TANAXホットライン」を設置しています。これにより、組織的または個人による不正・違反・反倫理的行為を未然に防ぐとともに、会社として速やかに事実確認と調査を行い、是正を図れる体制を構築しています。運用に際しては通報者の秘密の保護を厳守し、適正な対応を実施しています。

ISO27001（情報セキュリティマネジメントシステム）

情報資産の管理について、安全かつ確実な保護のもとで適切に共有・活用することが企業にとっての重要な課題と認識し、2016年にISO27001認証を取得しました。

当社では情報セキュリティ方針を制定し、お客様情報と個人情報の保護を継続的に実施しています。

また、ISO27001取得サイトだけでなく、全社対象で社内教育を実施し、情報セキュリティ体制の強化を推進しています。



TANAX本社システム管理室・東京支店・大阪支店・本社工場

「ホワイト物流」推進運動に参画

当社は、国土交通省・経済産業省・農林水産省が推進する「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、自主行動宣言を事務局へ提出しています。

「ホワイト物流」推進運動とは、深刻化が続くトラック運転者不足に対応し国民生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保するとともに、経済成長に寄与することを目的とした運動です。

当社は物流ソリューションを手掛ける企業として当運動を推進するとともに、当社が提案する「Just fit BOX（ジャストフィットボックス）」での段ボール資材の梱包作業・調達形態の抜本的な改革によって、「ホワイト物流」の取り組みを後押しいたします。



文化・スポーツ振興

当社は地域やステークホルダーの皆様と強い絆を育むために、文化・スポーツ振興に取り組んでいます。
(CSRに関するガイドライン「ISO26000」第6章、7つの中核主題の1つである「コミュニティ参画および開発」に基づく)

4年ぶりの社内レクリエーション

2020年から3年続いた新型コロナウイルス感染拡大防止による、ソーシャルディスタンスの制限やマスク着用義務が全国的に解除され、4年ぶりに社内でレクリエーションを実施いたしました。本社で実施されたレクリエーションでは、全部門の社員が集まり、社長とのゲーム対決や新しく入社した社員と親睦を深めるなど、交流の場となりました。



日本伝統文化の振興

当社は、日本伝統文化の維持、保護を目的として一般財団法人京都国際文化振興財団に協賛し、社会貢献に努めております。2023年も京都市勸業館みやこめっせで開催された「第43回日本盆栽大観展」に協賛しました。盆栽は日本が誇る伝統芸術として国内のみならず海外からも注目を集めており、今後も企業として文化振興に貢献していきます。



(左) 京都市 門川大作市長 (右) TANAX 会長 田中慶治

地域・スポーツ振興

【GAINER メインスポンサー】

当社はモータースポーツにおいても、SUPER GT300に参戦するカーレーシングチーム「GAINER」のメインスポンサーを務めています。レーシングカーの仕様にはお客様の製品を採用させていただき、お客様とともに、スポーツ振興に取り組んでいます。

8月に行われた、2023スーパーGT第4戦『FUJI GT 450km RACE』の決勝が行われ、GT300 GAINER TANAX GT-Rが今季初優勝を飾りました。

4 FUJI GT 450KM RACE



<http://www.gainer.asia>

【京都ハンナリーズ メジャーパートナー】

スポーツを通じた地域社会の発展貢献の思いから、京都を本拠地としてプロバスケットボールのB.LEAGUEに参戦する「京都ハンナリーズ」をメジャーパートナーとしてサポートしており、社員も応援に駆け付けています。



©KyotoHannaryz/B.LEAGUE

会社概要

商号	株式会社 TANAX	設立	1951年（昭和26年）3月23日
会社代表者	代表取締役社長 田中 一平	資本金	3億6,400万円
本社所在地	〒600-8105 京都府京都市下京区五条通烏丸東入松屋町438番地	決算期	12月
		従業員	494名（2023年12月31日時点）

編集方針

このサステナビリティレポートを通して、株式会社TANAXの「社会」「環境」を中心としたサステナビリティ活動を開示することによって、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを深めることを目的として編集しております。

報告対象：株式会社TANAX（一部関連会社の情報も含まれます）
対象期間：2023年度（2023年1月1日～12月31日）。ただし、一部には2022年以前の活動や情報も含まれています。
発行時期：2024年5月

人とモノの間に。

TANIX[®]

